

9月
議会定例会

藤里町定住化促進住宅用地

造成工事へ着手

9月議会定例会が、9月11日から20日までの7日間にわたり開催され、条例の制定や令和元年度各会計補正予算案などの19議案と報告2件、認定1件の計22件が提案、可決されたほか、平成30年度歳入歳出決算について認定されました。

より9%ほど多い状況です。

なお、東北農政局発表、8月15日現在における秋田県の作柄概況によりますと、県北地区は「やや良」と見込みまれています。

今年の米の概算払金額は、9月10日に開催された全県JA組合長会議で決定されましたが、JAあきた白神独自の加算金も含めた金額は、今後検討のうえ決定されるということです。

行政報告
◆稲作の作柄状況ほか農業関係

稲作関係について、8月20日現在における能代山本地区の水稲の生育状況は、㎡当り穂数は495本と、平年と比較すると14%ほど多くなっています。1穂当たりの着粒数は73・2粒で平年比96%、㎡当りの着粒数は3万5千8百粒と平年



次に、今年で10年目を迎えたリンドウは、栽培面積346・5a（内採花面積341・0a）で、8月14日までの販売においては、出荷本数は293・680本、販売額は11・383千円で、昨年同期と比較し、本数で35・850本、金額で3・682千円程下回っています。今年には融雪が早く、春先からの好天により開花が早まると予想されましたが、初出荷は前年並みとなりました。採花予定の早生品種に老弱株が多く、株当りの採花本数が激減していることや、好天で

干ばつ傾向となり、水不足で採花が早まらなかったこともあり、全体的な株当りの採花本数の減少による出荷量の減と、曲がりによる無印等級の増加となったことが要因と考えられます。単価的には1本38・8円と、昨年より7円下落しています。今後は、JA営農センターとも連携しながら、株の更新を促進していきます。

次に、白神ラムの飼育状況についてですが、現在、子羊は130頭で、うち30頭を繁殖育成に向け、ホゲット向け15頭を肥育し、今年度のお荷は、ラム肉用85頭を予定しています。繁殖用緬羊は、125頭の見込です。

次に、ニホンザルによる農作物の被害防止についてですが、今年度は6月中旬から出沒が確認され、随時追い払いに当たっており、鳥獣被害対策実施隊による週末の巡回や、檻・かかしを設置により、これまで1頭捕獲しています。

ツキノワグマにつきましては、目撃・出沒は数件で、農作物の被害が発生した箇所や、人的被害が懸念される場所に檻を設置して捕獲に努めており、現在まで2頭を捕獲しています。

県内ではクマの頻繁な出沒が続いてい

ることから、秋田県知事によるツキノワグマ出沒警報発令期間が9月30日まで延長されています。これからきのこ採りのシーズンとなり、山に入る機会が増え、クマと遭遇する確率も高くなることから、看板設置や防災行政無線を活用した広報により、注意喚起をしていきます。

◆藤里町定住化促進住宅用地
造成工事への着手について

6月19日に国と、土地の売買契約を終え、8月29日に、造成工事の入札を行ったところ23・705千円で落札となり、9月2日から着手していただいているところとです。近隣住民や地下水使用者には工事開始を周知し、安全を期して年内には造成を完了させたいと考えています。

主な議案内容

◎財政健全化判断比率について

◎公営企業の資金不足比率について

◎災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎藤里町消防団員の定数、任用、報酬、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎藤里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

◎藤里町立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例の制定について